

1. 調査報告概要表

【認知症対応型共同生活介護用】

作成日 平成20年3月28日

【評価実施概要】

事業所番号	2774500827
法人名	株式会社 泉州
事業所名	グループホーム泉州
所在地	泉佐野市湊2丁目1-38 (電話) 072-464-2101

評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 20年 3月 18日

【情報提供票より】(平成 20年 4月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15年 10月 1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	17人
職員数	14人	常勤	5人, 非常勤 9人, 常勤換算 10.1人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2階建ての	1階 ~	2階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	48,000円	その他の経費(月額)	23,000円	
敷金	有() 円	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	① (100,000円)	有りの場合 償却の有無	① / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,200円			

(4) 利用者の概要 (平成 20年 1月 1日現在)

利用者人数	16名	男性	0名	女性	16名
要介護1	4名	要介護2	4名		
要介護3	4名	要介護4	3名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 85歳	最低	74歳	最高	97歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	泉佐野優人会病院、佐野記念病院、西田外科内科、岸村歯科医院、大野歯科医院、小北歯科医院
---------	---

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

代表が地元の人であり、高齢者福祉に貢献するため一念発起し、設立した営利法人のグループホームです。「人は誰でもが幸せでありたい・心身ともに健康でありたい・社会の一員として生きがいを持って暮らしたい・不易の精神を共有し忠恕の心にある」をホームの理念として掲げ、利用者が安心してその人らしい生活を続けられるよう家族、職員、地域住民と共に支えています。職員は利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向に沿うよう支援し、やさしい雰囲気です。職員として配置されている看護師が協力医療機関の医師と連携して医療と看護を提供しています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4) 前回の外部評価で示された事項について、多くの改善が進んでいます。声かけによる排泄の自立化が進んだほか、眠剤の利用者も減りました。金銭出納帳の家族による確認方法が改善され、入浴についても回数を増やしています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、管理者とフロア主任の意見をまとめ、職員に説明し、認識の共有化を図り、サービスの具体的な改善に取り組もうとしています。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は泉佐野市職員、地域の代表、家族の参加のもと、2ヶ月毎に開催しています。会議ではホームの運営状況や行事、利用者の生活ぶり、職員の研修内容、認知症、外部評価等について説明し、地域との交流の深め方についても話し合っています。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族との面会時には、利用者の生活ぶりや連絡事項を伝え、利用者の医療や安全に関わる事項については、必要の都度電話で家族に報告しています。家族が知りたい利用者個別の体調や暮らしぶりについての情報を定期的に送付することが望まれます。家族とは面会時だけでなく、ケアプラン作成の時にも話し合い、家族が思いや希望、不満を表せるように対応しています。季節毎に家族も参加する行事を開催し、意見交換をしています。意見箱も設置しており、家族が意見を表せる機会を設けています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 利用者は、近隣住民や老人クラブの方の来訪があり、地域のボランティアと手芸をする等して交流し楽しんでいます。中学生の体験学習も受け入れています。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「人は誰でもが幸せでありたい・心身ともに健康でありたい・社会の一員として生きがいを持って暮らしたい・不易の精神を共有し忠恕の心にある」をホームの理念として掲げ、利用者が安心してその人らしい生活を続けられるよう家族、職員、地域住民と共に支えています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を明文化し掲示しています。月例の主任連絡会議や職員会議・研修会、毎日の業務等を通じて理念を共有し、介護サービスに反映させるよう話し合っています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	利用者は、近隣住民や老人クラブの人が来訪してくれたり、地域のボランティアと手芸をしたりして交流し楽しんでいます。中学校の体験学習も受け入れています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価で示された事項について、多くの改善が進んでいます。声かけによる排泄の自立化が進み、眠剤の利用者が減り、金銭出納帳の家族による確認方法を改善し、入浴回数を増やしています。自己評価は、管理者とフロア主任の意見をまとめ、職員に説明し、認識の共有化を図り、サービスの具体的な改善に取り組もうとしています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は泉佐野市職員、地域の代表、家族の参加のもとで、2ヶ月毎に開催しています。会議ではホームの運営状況や行事、利用者の生活ぶり、職員の研修内容、認知症、外部評価等について説明し、地域との交流の深め方についても話し合っています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	泉佐野市の担当職員や地域包括支援センターを訪ね、相談や情報交換を行い、事業者連絡会や研修会にも参加してサービスの質の向上に取り組んでいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族との面会時には、利用者の生活ぶりや連絡事項を伝え、利用者の医療や安全に関わる事項については、必要の都度電話で家族に報告しています。今後はさらに家族が知りたい利用者個別の体調や暮らしぶりについての情報を定期的おたよりの形で送付することも検討されてはいかがでしょうか。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族とは面会時だけでなく、ケアプラン作成の時にも話し合い、家族が思いや希望、不満を表せるように対応しています。季節毎に家族も参加する行事を開催して意見交換をしています。意見箱も設置して、家族が意見を表せる機会を設けています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	非常勤職員の退職はありますが、ベテラン職員の頑張りで、利用者への影響を最小限に抑えています。新人の採用時研修も計画的に実施されています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	大阪認知症高齢者グループホーム協議会の研修にも積極的に参加しています。ホーム内でも毎月研修会を実施し、伝達研修や独自の研修を行い職員のレベルアップを図っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	大阪認知症高齢者グループホーム協議会に加入して相互研修で交流するとともに、近隣のグループホームとも現場職員間の交流研修会を実施しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	職員が家庭訪問を行ったり、利用者や家族がホームに来訪したりするなど、家族や本人の不安を取り除き、安心して入居、サービスを受けられるように取り組んでいます。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学び支えあう関係を築いている	職員は利用者と共に過ごし、学び支えあう関係を目指した支援を行っています。利用者とは家事や行事の機会を通して学び支えあう関係を作っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時に家族や利用者からの聞き取りは行われていますが、その後の毎日の生活を通じて得た生活歴や意向の新たな気づきの記録と整理がなく、利用者一人ひとりの暮らしや楽しみ方の希望の把握が十分ではありません。	○	毎日の生活を通じて得られた利用者の生活歴や意向の新たな気づきを記録・整理し、日々のケアや暮らし、楽しみに生かすことが求められます。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者の現在の暮らしや願い、心身の状況を把握するとともに、医師や看護師の意見、家族の意向を反映させ、さらに個別の機能改善・予防運動も盛り込んだ介護計画を作成しています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は定期的には6ヶ月毎に、また状態の変化がある時はその都度見直しを行っています。各利用者の担当職員が行った日々の介護チェックシートをまとめ、家族の意向、医師や看護師の意見も聞いて、ケアカンファレンスを行い、ケアプランの見直しを行っています。ただケアプランの目標と介護チェックシートが連動していないため、ケアプランにもとづくモニタリングができていません。	○	現在使用中の介護チェックシートは独自で作成したフォーマットになっていますが、利用者個別のケアプランのケア目標に連動したモニタリングができるように改善することが求められます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	職員として配置されている看護師と協力医療機関の医師との連携により必要な医療と看護を提供しています。必要の都度看護師が通院介助も行っています。地域のボランティアの支援も受けています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関の医師による往診医療を受けていますが、診療科目によっては入居以前のかかりつけ医療機関から引き続き医療を受けています。協力病院と連携し、夜間や急変時の対応についての体制も整備されています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に「看取りに関する指針」を示し、ホームでの看取り実施の方針を伝え、家族の意向も確認しています。状況の変化とともに、利用者と家族、医師、ホームとの話し合いを行い意向の確認を続けていく予定です。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりを人生の先輩として尊重し、職員の言葉かけや態度は明るく丁寧で、やさしい雰囲気です。職員は採用時に個人情報の取り扱いについて法人と書面を取り交わしています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活リズムに配慮し、利用者のペースでゆったりと暮らせるよう支えています。職員が利用者を制止したり、急かしたりする言葉はなく柔軟な対応をしています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	昼・夕食は食材業者から届く未調理の食材を使い、職員が調理しています。食事準備、盛り付け、後片付け等の一連の作業に利用者も得意な分野で参加し楽しんでいます。月に2回は手作り昼食と手作りおやつをつくり、買い物から調理まで利用者も参加しています。職員は同じものを食べながら、利用者の食べ方の混乱や食べこぼしに対するサポートをさりげなく行い、会話をしながら楽しくなごやかな雰囲気を作っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	前回の外部評価で受審以降、夏場は週に3回の入浴、冬場は2回の入浴と入浴のない日は遠赤外線スチーム足浴を行うよう改善を行いました。希望があればいつでも入浴が可能です。今後はさらにシーズンを通して利用者の週3回の入浴ができるよう体制整備と雰囲気作りが望まれます。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者は一日の生活の中で家事にそれぞれの役割を見つけ、分担し合いながら張り合いのある生活を送っています。季節の風物や行事を表現する大型のちぎり絵や折り紙作りでは役割分担をして完成させています。民踊の得意な利用者には踊りを披露してもらったり、本が好きな利用者には図書館へ一緒に行ったりしています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	周辺の公園や神社、お寺、商店街への日常的な散歩のほか、月1回、普段は個別で行くことができない保養施設での入浴、食事や図書館、空港、その他の名所への外出を支援しています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	各フロアドア、玄関扉とも日中開錠しています。外出願望のある利用者にも見守りにより対応しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練については、今年には既に1回避難訓練を行っています。また、消防署への直接通報装置を設置したため、テストを兼ねて近日中に消防署立会いのもと避難訓練を実施する予定をしています。非常・災害時の食料品と水の備蓄は行っています。備蓄については、「非常用備蓄マニュアル」等の取り決めを作成してはいかがでしょうか。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の食事摂取量と水分摂取量を把握し記録しています。栄養バランスについては、食材業者とホームの看護師よりアドバイスを受けています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関口には鉢植えの花や、花屋から購入した季節の花を生けたもの、絵画、ベンチがあり訪ねやすい雰囲気になっています。リビング兼ダイニングルームは広く、台所周りの回廊式廊下や、機能改善・予防体操用床のあるスペース、ゆったりとしたソファの配置は機能的です。季節感のある手作り作品やボランティアと一緒に作った手芸作品も飾り、季節感、生活感のある家庭的な空間になっています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室には、利用者が整理ダンス、洋服掛け、籐椅子、椅子、ラジカセ、CD、書籍、アルバム、手作り手芸作品、家族の写真等使い慣れた馴染みのある物を持ち込み、個性的な居室になっています。また家族の思いも感じられ、落ち着き安心して生活できる空間になっています。		